

第3学年社会科学習指導案

単元名 暮らしを支える 町で働く人々

小単元名 地域のお店には工夫がいっぱい～町で野菜を売るお店～（8時間）

1 子ども達は

○ 本学年の子どもは、これまでの「わたしたちのまちのようす」「まちの地図づくり」において、まちの土地利用の様子を調べ、○○という町でくらしている人々が土地をどのように利用しているか、どこにどのような公共施設や交通機関があるかなど、わかったことを白地図に書き表す学習をしてきた。そして、校区の土地の使われ方には場所によって違いがあることに気付くことができている。

また、これらの学習を通して、町の様子を実際に観察し、くらしている人々から情報を収集し、自分の調べたことを発表し、それらの事実から考えをつくり、考えを交流できるようになってきた。

さらに、白地図に町の様子をまとめることで、校区の特色を理解し、主な地図記号や四方位を活用できるようになってきた。

○ 本学年の子どもは、これまでの学習で、社会事象にある課題をとらえ、追究したことをもとに自分の考えをつくり発表することはできるものの、自分の考えや根拠をもとに正確に伝えることができる子どもはまだ少ない。

また、交流活動などにおいて、自分と友達の資料や考えを比較し、資料と考えの両面から共通点や差異点をみつけたり、友達の考えのよさを自分の考えに取り入れたりして、新たな考えをつくるのが難しい。

この学習を通して、町で働く人々の工夫や努力を主体的に追究し、それをもとに自分の考えをつくるようになるようになってほしいと考える。また、友達と交流活動をすることで、自分の考えや根拠をもとに伝えたり、よりよい考えをつくりあげたりすることができるようになってほしいと考える。さらに、そこから学んだことを、今後の学習活動や自らの生活に活かすことができるようになってほしい。

2 教材は

○○の町の特色がある店とそこで働く人々を教材として取り上げることは、次のような価値がある。

○ ○○校区には、食料品や衣料品店、飲食店などの多くの店が点在している。家の人が食料品を購入する店として、スーパーマーケットA店や個人商店のB店、C店など、特色の見える店が、身近なところにあり、繰り返し、追究することができる。

また、日常生活の中でも買いものを通して、かわりをもつことが容易であり、子ども達の主体的な見学・調査活動が期待できる。

この学習を通して、それらの店で働く人々の思いや願いに気付かせることができるとともに、今後の自分のよりよい生活にいかしていこうという態度をもたせる上で有効であると考えられる。（継続性）

○ 子どもたちは、「わたしたちのまちのようす」や「買い物調べ」の学習において、校区には、家の人が日常的に利用するスーパーマーケットだけでなく、対面式の販売形態や商品の揃え方、陳列の仕方が違う特色をもった個人商店の存在に気付いている。

そして、同じ野菜を販売しているにもかかわらず、品揃えや陳列の仕方などの工夫が見えるスーパーマーケットA店、生産地や生産農家にこだわりをもって産地から直送して商品を揃えたB店や、仕入れを工夫して安く新鮮な商品を揃えたC店といった個人商店などがある。これらの店を家の人が選んで買い物をしているわけをもとに、それらの店の個々の工夫や努力を追究し、共通点や差異点を見出すことは、様々な角度から自分の考えをもたせる上で有効であると考えられる。（多面性）

3 交流活動の工夫は

本小単元では、次のような交渉する力を育んでいく。

こんな交渉する力を身に付ける	
【であう段階】	
○ ○○校区にある店の様子がわかる資料や、店について自分が知っていることから、思うことや分かることを交流することができる。	
○ 販売の工夫について予想を出し合い、友達と自分の考えの共通点や差異点を見つけることができる。	
【はたらきかける段階】	
○ 店で働く人々にはたらきかけ、販売の工夫や努力していることなど自分に必要な情報を主体的に収集することができる。	
○ 同じ考えをもつグループで話し合い、自分の考えを見直すことができる。	
【たかめる段階】	
○ 追究したことをもとに、自分の考えを伝えることができる。	
○ 友達の考えを聞いて、友だちの考えのよさを取り入れ、自分の考えを見直すことができる。	

このような交渉する力を育むために、次のような場を設定し、次のような学習材を使って交流活動を工夫していく。

場	学習材
【であう段階】	
○ 「スーパーA店」「個人商店B店」「青果店C店」の様子を比べ、学習問題をつくる場	○ ○○の町の様子わかる掲示物
○ 予想を出し合い、友達の考えと比べる場	○ 「スーパーA店」「個人商店B店」「青果店C店」の様子わかる写真
	○ 学習プリント
【はたらきかける段階】	
○ どんな工夫や努力をしているか見学をして、事実を収集する場	○ 「スーパーA店」「個人商店B店」「青果店C店」で働く人々やそこへ買い物に行く地域の人々
○ 調べたことをもとに、同じ考えをもつグループで、自分の考えを再構成する場	○ 販売の工夫がわかる写真や表現物
	○ 学習プリント
【たかめる段階】	
○ 自分の考えを伝える場	○ 考えを伝えるための表現物
○ 友達の考えのよさをみつけ、自分の考えを見直す場	○ 販売の工夫がわかる写真や表現物
○ これまでの学習を振り返る場	○ 学習プリント

4 めざす子どもの姿は

- | |
|--|
| ○ 町で働く人々の姿を通して、そこにあるものや働く人について興味・関心をもち、意欲的に調べることができるとともに、身の回りの生活とつなぎ、自分の消費生活の営みを工夫しようとするすることができる。 【関心・意欲・態度】 |
| ○ 販売の仕方の工夫を見つけながら考えを作り、そこに新しい情報や友達の考えを補充し、自分の考えを深めることができる。 【思考・判断】 |
| ○ 自分の考えの根拠になる事実を追究し、自分の考えを表現物にまとめ、伝えることができる。 【観察・資料活用 of 技能・表現】 |
| ○ 校区には販売に関する仕事がたくさんあり、そこで働く人達は、お客さんのニーズを考えて工夫や努力をしていること。そして、それらが自分たちの生活を支えていることを理解することができる。 【知識・理解】 |

5 学習計画（12時間）

段階	学習活動と主な内容	※教師の支援	配時
で あ う	<p>1 前小単元を想起し、お家の人の買い物をする店に違いがあると ころから学習問題1を設定する。 ○ぼくのうちは、スーパーマーケットA店に行くらしいよ。 ○私のうちは、B店というお店によく行くらしいわ。</p> <p>学習問題1 お家の人たちが、野菜を買いに行くのはどんなお店なのだろう。</p>	<p>※ 多くの買い物の中から野菜に着眼させるために、家の人がよく買っている品物を提示する。</p>	1
／	<p>2 お家の人がよく買い物に行くお店を見学し、そのお店の様子の 違いから、学習問題をつくる。 (1) よく買い物に行くお店を見学する。 ○場所 ○店の様子 (2) 見学して分かったことを発表し、学習問題2を設定する。 ○どこのお店も様子が違うぞ。 ○なんているいろいろなお店があるのに、この店に行くのかな ○きっと、他の店にはない工夫があるんじゃないかな</p> <p>学習問題2 お家の人たちがよく行くお店にはどんな工夫があるのだろう。</p>	<p>※ それぞれの店にある工夫を視覚的にとらえ、根拠をもとに発言できるように、店舗の写真を提示する。選ぶわけを想起できるように、前単元の学習の掲示物を掲示する。</p>	3 ② ①
は た ら き か け る	<p>3 学習問題の予想を出し合い、追究の計画を立てる。 ○安さ ○新鮮さ ○サービス ○安全・安心 など</p> <p>4 追究計画に沿って、自分の考えに必要な事実（その店の人気の 秘密）を集め、考えをつくる。 (1) 自分の考えに必要な資料を集めるために見学・取材に行く。 ○商品の仕入れの工夫 ○売り方の工夫 ○商品の数や種類 ○お客さんに買い物にきた理由、店のよさなどのインタビュー (2) 同じ店を調べた友だちと交流し、自分の考えを付加・修正し、 考えを再構成する。</p>	<p>※ 追究計画を立て、見学・取材の観点をもとに、それぞれの店の違いが分かるように板書する。 ※ それぞれの店の特色をとらえさせるために、店のチラシや看板などのキャッチフレーズを提示する。</p> <p>※ 自分と友だちの考えを比べて、付加・修正できるように、同じ視点のグループで交流し、根拠の妥当性を検討させる。</p>	1 本時 0組 3 ②
た か め る	<p>5 学習問題について、調べたことをもとに、お店の人気の秘密に ついて話し合う。 (1) 再構成した自分の考えを見直し、表現物にまとめる。 ○写真の説明（証拠） ○理由や根拠 ○自分の考えの結論 (2) これまでの学習をもとに、お店の人気の秘密について話し合 う。 ○人気の秘密の理由や根拠を明らかにして発表する。 ○それぞれの共通点を見出す。</p>	<p>※ 自分の考えをより多くの視点や立場から見直し表現物にまとめさせる。 ※ それぞれの販売の工夫の観点で検討することができるようになる。 ※ 友達の考えを肯定的に受け止め合意できるように、共通点を整理して板書する。</p>	① 本時 0組 3 ②
	<p>6 話し合ったことをもとに、それぞれの商店の特色や販売の工夫 について振り返る。 ○それぞれの店がお客さんのことを考え喜んでもらえるような工 夫をしている。</p>	<p>※ これまでの学習を振り返り、地域の人々の販売の仕事や特色について、考えることができようように、これまでの学習の記録を見直させる。</p>	1

6 本時 「学習問題の予想を出し合い、追究の計画を立てる場面」(5 / 1 2)

指導者 ○○ ○○ 場 所 3年○組教室

7 本時の目標

- 家の人がよく行く店の販売の工夫を見学・取材する方法を考えることができるようにする。
- 学習問題についての予想を発表し、自分の考えと友だちの考えの共通点や差異点を見出し、自分の予想を見直すことができる。

8 本時展開

学習活動と内容 (○内容 ※具体的な支援・留意点)

1 学習問題をふりかえり、めあてを確認する。

めあて 学習問題についての考えを発表し、考えを解決できるように追究計画を立てよう。

2 予想を発表し、調べる方法を話し合う。

(1) それぞれの店の人気のひみつについて予想する。

- 予想される子どもの考え
 - ・新鮮さ ・安さ ・便利さ ・品揃え ・人のよさ
 - ・安心 ・安全

※ 一人一人が考えをもてるように、考えにつながる店舗の写真と、チラシなどの資料を提示したり、前の学習の掲示物を掲示したりしておく。

(2) 調べる内容や方法について話し合う。

- 予想される子どもの考え

- [店の人] ・商品の仕入れの仕方の工夫 ・その店のこだわり
 - ・売り方の工夫 ・商品の数や種類
- [お客さん] ・どこから来たのか ・買い物へきた理由
 - ・それぞれの店のよさ
- [調べ方] ・見学 ・インタビュー ・家の人に聞く

(3) 人気のひみつをさぐる店を決め、取材内容を書き込む。

※ 見通しをもって、それぞれの店の工夫が取材できるように板書を工夫する。

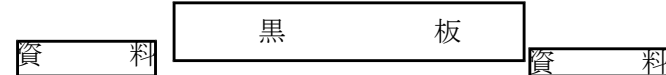
3 今日の学習を振り返り、次時の学習めあてを書く。

○○店の人気のひみつをさぐるために、お店の人に販売の工夫を聞いたり、お客さんにインタビューしたりする。

学習材：これまでの学習の流れの掲示物と資料
学習プリント

場： 自分と友だちの考えを比較し、友達の考えのよさを取り入れ見通しをもつ場

○形態：考えを比較しやすいように次のような形態で行う。



[]

[]

6 本時 「見学・調査したお店の人気の秘密をグループで交流する場面」(8/12)

指導者 T1 ○○ ○○ T2 ○○ ○○ 場所 3年○組教室

7 本時の目標

- 「スーパーA店」「個人商店B店」「青果店C店」, それぞれの店の販売の工夫について情報交換することで, 仕事に携わっている人々の工夫をより多くの視点から考えることができるようにする。
- 店の人たちが様々な工夫をしていることについて考え, 友だちの考えのよさを取り入れて, 販売の工夫に対する自分の考えをもつことができる。

8 本時展開

学習活動と内容 (○内容 ※具体的な支援・留意点)

- 1 本時のめあてを確認し, 前時までの自分の学習したことを振り返る。
 (1) 本時のめあてを確認する。

めあて 調べて分かったお店の工夫をグループで交流しよう。

※これまでの学習を振り返らせるために, 学習の足跡がわかる掲示物を展示する。

- (2) 前時までの取材メモを見直し, 自分の考えを確かめる。
 2 ○○店の人気の秘密について, 自分の調べたことをもとにグループで交流する。
 (1) 同じ店のグループに分かれて, 販売の工夫の情報を話し合う。

「スーパーA店」グループ

- ・バックづめの商品が多かったね。
- ・日用品を買うついでに野菜を買うと家の人が言ってたよ。
- ・広告の商品が安いのも人気の秘密みたいだね。

「個人商店B店」グループ

- ・糸島産産地直売という看板があったよ。
- ・旬の野菜や果物のことをお客さんに説明してたね。
- ・他にも糸島産食材があるよ。

「青果店C店」

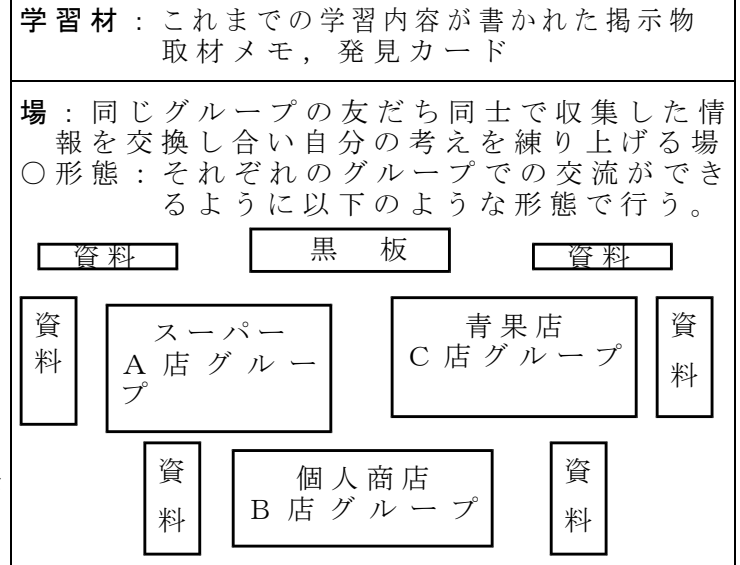
- ・店の裏に段ボールが積み重なっていたよ。
- ・大根やレタスが他の店より安かったね。
- ・店で働く人が多かったね。

- (2) 情報交換をもとにして自分の考えを再構成したり新たな疑問を解決する方策を考えたりする。

※ 同じ資料から違う見方をしていたり, 違う資料から同じ見方をしている考えを見つけたりして自分の考えを再構成させる。

- 3 今日の学習を振り返り, 次時の学習のめあてを書く。

○○店の人気の秘密を見直し, 表現物にまとめよう。



6 本時 「〇〇店の人気の秘密を交流する場面」(11/12)

指導者 〇〇 〇〇 場所 3年〇組教室

7 本時の目標

- 「スーパーA店」「個人商店B店」「青果店C店」, それぞれの店の販売の工夫を比較することで, 仕事に携わっている人々の工夫や, それによって自分たちの生活が支えられていることを考えることができるようにする。
- 多くの人に喜んでもらうために, 店の人たちが様々な工夫をしていることについて考え, 友だちの考えのよさを取り入れて, 販売の工夫に対する自分の考えを めることができる。

8 本時展開

学習活動と内容 (○内容 ※具体的な支援・留意点)

- 1 本時のめあてを確認し, 前時までの自分の学習したことを振り返る。
 (1) 本時のめあてを確認する。

めあて 調べたことをもとに, お店の工夫について話し合おう。

※これまでの学習を振り返らせるために, 学習の足跡がわかる掲示物を展示する。
 (2) 前時までの取材メモ・表現物を見直し, 自分の考えと根拠となる事実を確かめる。

- 2 それぞれのお店の工夫についてについて, 自分の調べたことをもとに話し合う。
 (1) 「スーパーA店」「個人商店B店」「青果店C店」の販売の工夫を発表する。

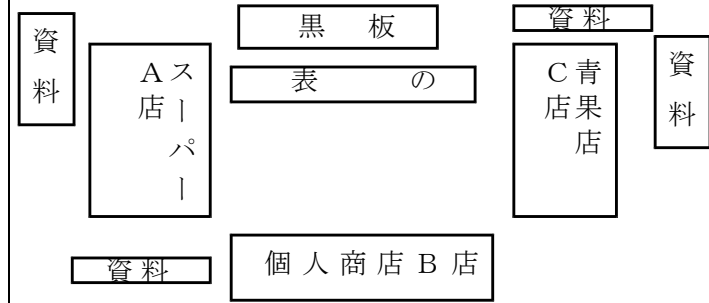
「スーパーA店」
 ・品物をきれいに べている。
 ・野菜, 果物だけでなく他の食材もあるので便利。
 ・チラシで本日の など広告がある。

「個人商店B店」
 ・糸島の生産 から直 取り入れている。
 ・旬の野菜や果物を いている。
 ・野菜の他にも糸島産の食材も っている。

「青果店C店」
 ・同じキャ でも他の店より安く売っている。
 ・同じ品物をたくさんおいてる。品 れがない。
 ・店で働く人が多い。

学習材: これまでの学習内容が書かれた掲示物
 取材メモ, 発見カード, 表現物

場: お いの共通点を見つけ できる考えをまとめる場



- (2) それぞれの店の共通点を見つけ, できる考えにまとめる。

[まとめ] それぞれの店の人気の秘密は, お客さん(買いに来る人)の要 に合わせた販売の工夫をしていることであり, 常に, お客さんのことを考え喜んでもらえるような工夫をしている。

- 3 今日の学習を振り返り, 学習前の自分と学習後の自分を比べて わったところ, 次時のめあてを書く。